

Technical Data Sheet

溶剤系アクリル粘着剤

耐可塑剤性粘着剤

アクリル酸エステル系共重合物を主成分とした溶剤系粘着剤です。

耐可塑剤性に優れています。可塑剤の影響を受けにくく、PVCフィルム基材やPVC床材等への使用を推奨します。

■ 一般物性

製品名	ダイカラック5036	P-7241-C (開発品)	P-7333 (開発品)	P-7350-2 (開発品)
外観	無色透明			
不揮発分(%)	50	50	35	45
粘度(mPa·s/25°C)	2,500	7,500	9,000	1,600
溶媒	酢酸エチル、トルエン			
理論Tg(°C)	-32	-32	-45	-45
分子量	25万	45万	90万	35万
特徴・用途	-	ダイカラック5036改良 (トルエンフリー)	耐熱性、強粘着、 エポキシ架橋	オレイン密着、強粘 着、エポキシ架橋

■ 粘着物性

硬化剤量 (g/100g粘着剤)		0.60	0.20	0.02	0.02
粘着力 (N/25mm)	SUS	-	41	35	-
	PVCタイ ル	6(Zip)	-	8(Zip) ※硬化剤: 0.03部	14(Zip)
耐熱 (*1)	SUS	-	54	45(CF)	-
耐温熱 (*2)	SUS	-	42(CF)	63(CF)	-
耐熱 (*3)	PVCタイ ル	11(Zip)	-	10 ※硬化剤: 0.03部	22
寸法安定性(0.3mm以内)		-	○	○	-

粘着物性測定方法: JIS-Z-037に準拠(測定温度/湿度 = 23°C/50%)

粘着シート構成 : 対 SUS BA430 <基材>PVCフィルム 100μm / 粘着剤 60μm(dry) / <セパレーター> PET 38μm
対 PVCタイル(市販品) <基材>コロナ処理PET 25μm / 粘着剤 50μm(dry) / <セパレーター> PET 38μm

エージング時間 : TDI系 三井化学社製「タケネートD101E」の場合 40°C×3days →【ダイカラック5036, P-7241-C】使用
エポキシ系架橋剤 三菱化学化学社製「TETRAD-C」の場合、40°C×3days→【P-7333, P-7350-2】使用

粘着力測定 : 貼り合わせ24hours後180°C引き剥がし法(300mm/min)

耐熱試験(*1) : 粘着シートを被着体 SUS BA430へ貼り付け、70°C×1month放置後取り出し、粘着力を測定。

(*2) : 粘着シートを被着体 SUS BA430へ貼り付け、60°C×95%×1month放置後取り出し、粘着力を測定。

(*3) : 粘着シートを被着体 SUS BA430へ貼り付け、60°C×95%×1month放置後取り出し、粘着力を測定。

寸法安定性 : 試験片50mm×150mmをSUSに貼り付け、中央をクロスカットし、100°C×2hrs放置後取り出し、カット部の隙間を測定。



Daido Chemical Corp.

Functional Materials Sales Dept.

TEL: +81-6-6471-0594

URL: <http://www.daido-chem.co.jp>